

農政学特論 II (2 単位)

担当者氏名 原 珠里

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本科目は、農業経済学専攻の大学院生が、修士論文等を視野に調査研究を行う前提として、農村社会や農業経営における基礎的な事項と課題、特に家族農業経営、及び農家女性の位置づけと課題に関する現状を十分に理解することを到達目標とする。日本における農村女性施策の推移、諸外国における農村女性の現状について、文献を中心に学習するほか、受講生の興味関心にあわせた材料により学習を行う。受講生が主体的に、調査、プレゼンテーション、討論の作法を学び参画することにより基礎的な学習能力を深める。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農村における社会参画 家族農業経営 農村女性起業 男女共同参画社会
 農村女性施策 就農経緯の変化 ソーシャルネットワーク

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	総論 1	農業関連施策と農村 受講生の研究課題	○各自の興味あるテーマの提出 ○プレゼンテーション準備、配布資料の予習・復習 ○施策に関しては文献やサイトなどから原典に当たり十分な予習をおこなうこと。 ○報道内容などと授業の内容を関連づけて復習すること。
2	総論 2	グローバル化の中での農村	
3	農村社会 テーマ 1	日本の農村女性施策の現状 概観	
4	"	農山漁村の女性に関する中長期ビジョンについて	
5	"	家族経営協定について	
6	農村社会 テーマ 2	諸外国における家族農業経営概観	
7	"	ヨーロッパ社会における農村女性の現状	
8	"	アメリカ・オセアニアにおける農村女性の現状	
9	農村社会 テーマ 3	農村女性起業の実態と課題 概観	
10	"	農村女性起業の形成経緯について	
11	"	六次産業化と農村女性起業	
12	農村社会 テーマ 4	世界の農村女性の組織・社会活動 概観	
13	"	農村における女性の権利獲得のための活動	
14	まとめ 1	総合討論	
15	まとめ 2	総合討論	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

随時資料を配付し、授業時に指示する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

随時資料を配付し、授業時に指示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

プレゼンテーション、議論への参加、レポートの提出などから総合的に判断する

◆オフィスアワー

毎週金曜日の 5 限に研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

英語文献に関しても積極的に学習して英語力を高めてほしい。